

◎平成27年度地方創生加速化交付金（繰越）のKPI検証について

<実施計画>

地域とNPO・行政が連携した地域創生事業

～小学校跡地を活用した、子ども若者支援を中心に～

◆KPI（実施計画）

KPI	平成28年4月 (本事業開始時)	平成29年3月	平成32年3月
①伏尾台地域の人口(人)	5,412	5,434	5,500
②伏尾台地域の老年人口の割合(%)	36.92	41.74	40.00

◆実施計画のKPI検証方法・KPI検証結果の公表方法

伏尾台創生会議にてKPIの達成度を検証し、同会議にて事業の見直しについて検討し、検証後、速やかに池田市HPで公表。(平成30年6月)

<検証結果>

◆KPI（実績）

KPI	平成28年4月	平成29年3月	平成30年3月	開始時からの増減
①伏尾台地域の人口(人)	5,412	5,382	5,286	126 減少
②伏尾台地域の老年人口の割合(%)	36.92	38.48	40.20	3.28 増加

◆KPI検証方法・KPI検証結果の公表方法

平成30年6月16日の伏尾台創生会議にてKPIの達成度を報告、検証した。検証結果については、池田市HPで公表。

◆検証時の意見等

- ・旧伏尾台小学校の利活用として、コミュニティビジネスを実験的に行っていかってはどうか。伏尾台で広く公募し、創生会議で発表するなど。
- ⇒市としては、地域再生計画に則り、コミュニティビジネスの創出や子育て支援事業など、地域でイベントを企画立案してほしい。
- ・環境づくりが大切。子どもが遊べるスペースであったり、外観を変えるだけでもインパクトがある。
 - ・伏尾台に軽トラを走らせると集まるのではないか。昭和レトロなカフェなど。
 - ・子どもたちのワークショップ形式でつくりあげていくのも1つ。そうなれば、子どもや子育て世代にも伏尾台での活動も周知される。
 - ・ずっと旧伏尾台小学校という呼び方では認知されにくいと思う、ものにはネーミングが必要であり私たちから「はぐのさと」を使っていくべきではないか。
 - ・グラウンドを公園のようにすれば、認知症の方も歩けるし、見守りができる。
 - ・公募事業のプレゼン大会を実施する。またワークショップ形式で外観などを作り上げるイベントを行い、子どもや子育て世代に伏尾台の活動を周知し、今後につなげる。